

# 介護、早く専門家頼って

NPO法人となりのかいご代表理事 川内潤氏



「介護と仕事は両立できる」と語る川内潤さん＝大垣市万石、大垣フォーラムホテル

## 岐阜新聞・岐阜放送 懇談会

〈西濃3月例会〉

川内さんは「直接介護することとは親孝行」「テレワークは仕事と介護の両立に有効」など、介護にまつわる五つの「誤解」を紹介。早くから地域包括支援センターなど専門家に頼ることの重要性を繰り返し伝える。

岐阜新聞・岐阜放送懇談会の西濃3月例会は30日、大垣市万石の大垣フォーラムホテルで開かれ、NPO法人となりのかいご（神奈川県伊勢原市）代表理事の川内潤さん（42）が「親と離れていた方が仕事と介護が両立できる理由とは？」と題して講演。介護は早くから専門家に頼るべきとし「家族は愛情表現できる余裕を持つことが大切。役割に注力できれば仕事との両立はできる」と訴えた。

テーマ 「親と離れていた方が仕事と介護が両立できる理由とは？」

### 【次の案内】

▽「早めに相談すること」で、介護体制をつくるいい準備ができる」とも指摘した。家族介護は▽自分の生活を犠牲にする▽やりすぎを繰り返す

▽合同4月例会 4月26日

（水）正午から、岐阜市の都ホテル岐阜長良川。講師は医学博士、最高検察庁参与の服藤恵三氏。テーマは「科学捜査と捜査支援の回顧と展望」。

岐阜新聞・岐阜放送懇談会（岐阜、西濃）は会員制です。入会申し込み、問い合わせは事務局（岐阜新聞社統合編集局内）、電話058（264）1166。

護に陥る▽余裕や社会との接点を失う▽ストレスがたまって虐待などにつながる▽この悪循環に陥りやすいと指摘。「大切な人と思うからこそ頑張り過ぎて、最期を迎える時には関係が悪くなっているケースが多い。それが本当に親孝行なのか」と問いかけた。

また「遠距離の介護は客観的に判断でき、感情的になりにくい。親も地元を離れなくて済む」などの利点を強調。自身が遠距離介護で祖母を見送った経験を振り返って「遠距離介護だったからこそ、優しいおばあちゃんの思い出が残せた」と語った。

川内さんは2008年に

市民団体となりのかいごを設立し、14年にNPO法人化。誰もが無理なく家族の介護と向き合える社会の

実現を目指して活動している。22年、1700件を超える介護相談を基に共著「親不孝介護」を出版した。